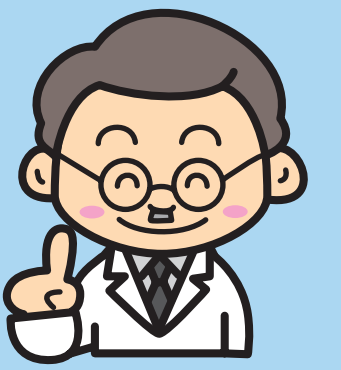


水田での高品質・多収な「大豆」・「麦」栽培のポイント



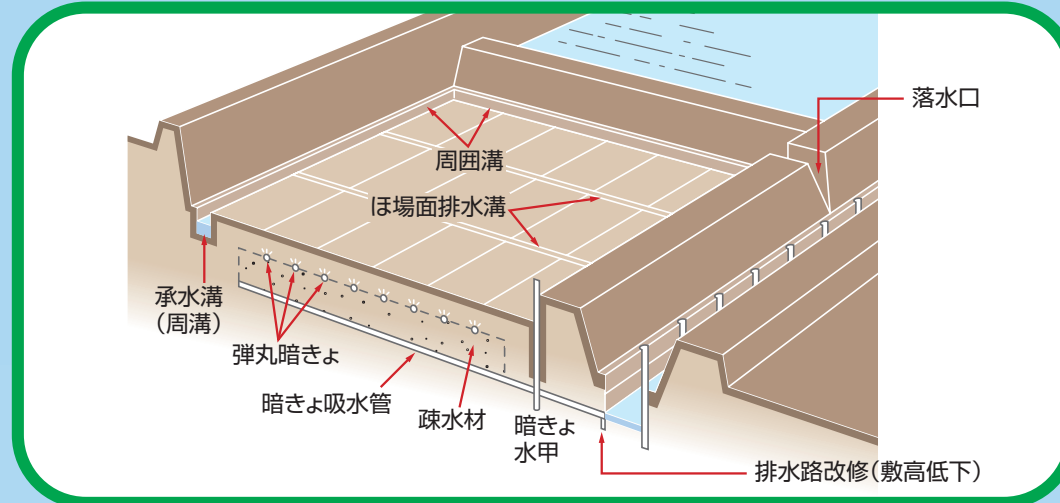
「水田を畑地として利用する」ということを意識しましょう。



大豆では出芽の良否が収量安定のポイントです。播種後の湿害は種子の酸素不足等で出芽なくなることがあります。湿害対策で、排水性を良くしましょう。



前作が水稻の場合は、収穫前の早い時期に水を落とし、排水の悪いほ場では耕盤破碎して透水性を改善、溝掘りで表面排水を促進しましょう。



作物の特性に合った施肥を心がけましょう。



大豆のカルシウム吸収量は非常に多く、また、酸性土壌を好まないため、pH6.5(弱酸性から中性)程度を保つことと、カルシウム補給を目的に、耕起前には必ず石灰散布するなど、肥料・土壌改良剤の散布をしましょう。また、有機物の施用や作物残渣のすき込みなどで、地力窒素を高めます。



麦の生育は冬の低温期となるため、土壌からの養分の供給が多くありません。子実中のタンパク含量は施肥窒素との関係が深いため、高品質な麦類の生産のために、栄養生長期の穂ばらみ期に窒素を施用しましょう。目標とするタンパク量確保には、穂肥を施用します。



施肥をエコラデルタで行うと、作業姿勢が安定するため散布ムラが減少し、均質な生育と肥料コスト低減が両立できます。

適期播種が必須です。



地域・品種に適した播種時期を守ることが大切です。晩播すると主茎節数が少なくなります。子実は節に付くため、晩播では単位面積当たりの収量を確保するために栽植密度を多くします。



一般に麦の播種時期の気温は13度くらいです。播種が遅くなると分げつ数が減り、減収につながります。また、早すぎると子実のタンパク含量が減り、品質が低下します。品種、地域ごとの播種適期を守ることがポイントとなります。



エコラデルタなら作業機の上下動が小さく、播種などの精度が求められる作業も高精度に行えます。

雑草防除は、品質や収量に大きく影響します。



播種直後に除草剤を散布し、3～4週間頃を目安に1回目の中耕・培土を、その後開花始めまでに2～3週間ごとに2～3回行います。それにより雑草の発生を抑え、空気・水の透過を良くし、干害や湿害を防止します。



雑草のほとんどは生育初期に発生するため、播種直後には必ず除草剤散布を行います。除草カルチでの作業は作物の際に生える雑草も除草し、しかも排水性も上がります。



除草カルチは麦栽培時の「つる」植物や除草剤が利かない草にも有効です。

収穫適期を守って、損失を少なくしましょう。



コンバインでの収穫は、茎水分が下がった収穫適期でも朝露がなくなった11～16時までの間に、莢の水分が20%前後、茎水分が60%以下で行うことが、汚粒低減に効果があります。



【小麦】
穂が湾曲し始めたころです。刈り遅れると稈がもろくなり、引起し部での切断や屈折稈が生じ、ロスが多くなってしまいます。
【六条大麦・ビール麦】
80～90%の穂が黄褐色になり、穂の30～40%が傾いたころです。

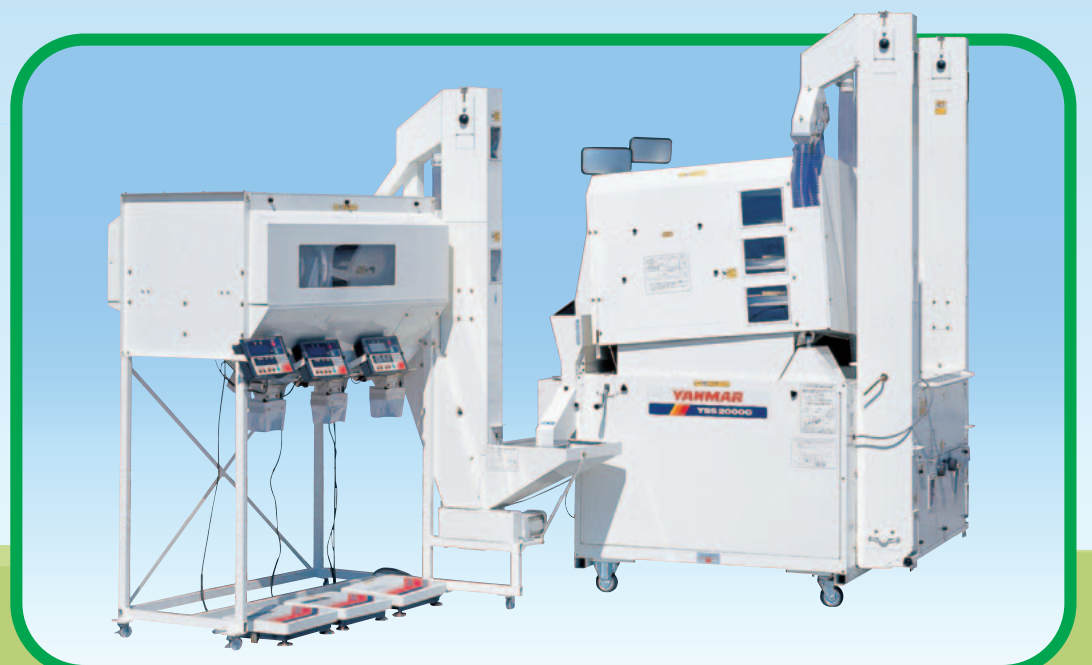


普通型コンバインは、1台で稲・麦・大豆など多くの作物に汎用的に利用できることから、機械利用経費の低減を図ることができます。

規格に合った的確な選別・選粒をしましょう。



大豆の等級は3段階、粒径は4段階の検査規格があります。検査規格が高等級のものほど売渡し価格が高くなります。粒径も大粒・中粒・小粒・極小粒の4段階に分かれ、それぞれ価格が異なりますので、選別選粒機などを利用して粒径を揃え、色彩選別機で選別することが収益確保の大切なポイントです。



稲・麦・大豆の作業暦と機械化体系(例)

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

月	4月	5月	6月
稲	育苗	田植え・直播	
麦	除草 ●乗用管理機 ●無人ヘリ		収穫 ●普通型コンバイン ●自脱型コンバイン
大豆	排水対策 ●サブソイラー(暗きよ) ●疎水材心土充填(粉ガラ暗きよ) ●スタブルカルチ(耕盤破碎) ●レーザーレベラー(傾斜均平化) ●溝掘機(明きよ)	施肥 ●ブロードキャスタ ●ライムソワー ●マニアスプレッダ	中耕・培土 ●中耕ディスク ●中耕ロータリー

生産性向上・高品質な作物を育てるために、ヤンマーからのオススメ商品

排水対策

- サブソイラー
- 振動サブソイラー

心土破碎で、透水性を改善。



- レーザーレベラー

ほ場面を均平・傾斜化し、地表排水を促進。



- スタブルカルチ

耕盤を破碎し、根の発達を促す。



- 溝掘機

表面排水を促進し、排水性を向上。



- 疎水材心土充填機(モミサブロー)

暗きよ穴の埋没を防ぐため、排水効果が3～5年ほど持続。



施肥

- ブロードキャスタ



- ライムソワー
- フロント施肥機



- マニアスプレッダ



土壌改良剤



耕起・播種床づくり(うね立て)・播種

- 目皿式播種機

山形鎮圧輪で、クラストを抑制し、発芽を促す。



ミッドマウント管理作業車MD20用

- ベルト式播種機
- +ベルト式播種機用マーカ- MD



ミッドマウント管理作業車MD20用

- 目皿式播種機
- +目皿式播種機用ヒッチMD
- +目皿式播種機用マーカ- MD



接地輪駆動で、安定した株間が取れる。
※MD20の写真は、いずれも試作機です。

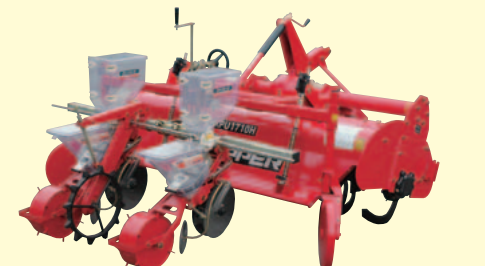
- ツーウェイローター

転作の播種床用の耕うんが、効率的に行えるローター。また、爪の組替えと施肥播種機の装着で、うね立て耕うん同時施肥・播種が可能。



- アッパーロータリー
- +けん引型目皿シーダ
- (耕うん同時うね立て播種)

耕うんと同時にうね立て播種が可能。



- 不耕起播種機

耕起・中耕・培土を除く栽培法で、省力化を図ることができる。



プラス

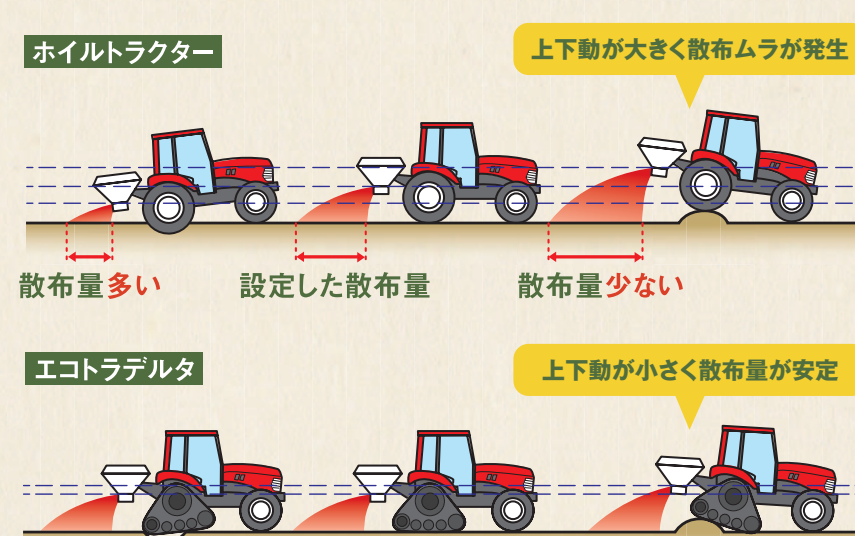
EcoTron DELTA
エコトラデルタで...

適期作業ができる。

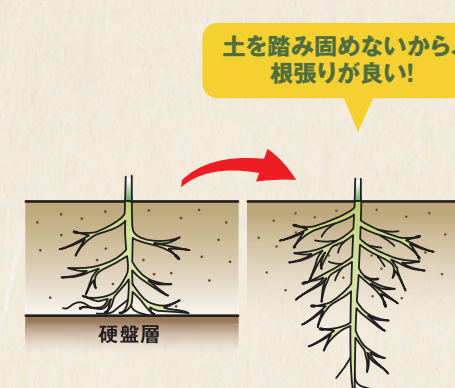


低接地圧と高い走破性
天候に左右されない

高精度に作業ができる。



低踏圧で作物にやさしい。



稲・麦・大豆の作業暦と機械化体系(例)

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稲	管理作業 ●乗用管理機 ●無人ヘリ ●ブームスプレーヤ	収穫 ●自脱型コンバイン	乾燥・調製 ●乾燥機 ●粉すり機 ●色彩選別機	土づくり ■天地返し ■粗耕起 ■有機物散布					あぜ塗り 耕起 代かき
麦		第1本葉節 初生葉節 子葉節 第2回培土 (第3本葉展開時) 第1回培土 (第1本葉展開時)	排水対策 ●サブソイラー(暗きょ) ●レーザーレベラー(傾斜均平化) ●溝掘機(明きょ)	施肥 ●ブロードキャスタ ●ライムソー	播種床づくり・播種 ●ツウウェイローター ●アッパーローター ●施肥播種機	除草 ●ブームスプレーヤ ●除草カルチ	土入れ・麦踏み ●中耕ロータリー ●ロータリーカルチ ●除草カルチ	穂肥・土入れ ●ブロードキャスタ	
大豆	除草・中耕・培土 ●中耕ディスク ●ロータリーカルチ ●除草カルチ かん水・摘心		病虫害防除 ●乗用管理機 ●無人ヘリ	収穫 ●大豆コンバイン ●普通型コンバイン	土づくり ■天地返し ■粗耕起				
			脱粒 ●大豆脱粒機	乾燥・調製 ●乾燥機 ●選別選粒機 ●色彩選別機					

生産性向上・高品質な作物を育てるために、ヤンマーからのオススメ商品

※希望小売価格は、いずれも税込み価格。

除草・中耕・培土

●中耕ディスク

湿った土壌でも土質を悪化させることなく培土し、雑草も抑制できるけん引型ディスク式。



ミッドマウント管理作業車MD20用

●3連中耕ロータリー +アポロ培土器

●中耕ディスク

ハイクリアランスで作物にやさしく、「見える」操作で能率良く作業ができるミッドマウント管理作業車にベストマッチな作業機。



乗用管理機HVシリーズ用

●ロータリーカルチ+培土板

汎用性の高いHVシリーズ用のロータリーカルチ。



●除草カルチ

作物の際に生える雑草も、麦栽培時の「つる」植物や除草剤が効かない草もまとめて一気に除草。畑の排水性も向上。



病虫害防除

●乗用管理機 HV シリーズ

豊富なアタッチメントで、水田の防除から畑作の防除・施肥・中耕・培土まで幅広くこなし、能率の良い作業ができる。



型式:HV231,SHF5WB4GV
最大散布幅:16.2m
希望小売価格:5,428,500円

●無人ヘリコプター

高精度GPSで操縦疲労が低減。ダウンウォッシュで葉の裏側まで散布できる。



型式:AYH-3,DA
最大積載薬剤量:24L
吐出方式:アトマイザー方式
希望小売価格:10,786,650円

収穫

●大豆コンバイン



型式:GS400-GS400G(C)
エンジン出力:40.4PS
刈幅:1535mm
希望小売価格:5,985,000円～

●普通型コンバイン



型式:AG1100
エンジン出力:110PS
刈幅:2060mm
希望小売価格:13,492,500円～

汚粒の発生を抑制する
ローラーコンケープ採用。



※AG1100の大豆キットはオプション。



大豆へのやさしさにこだわり抜いた装備を満載。



ハイパワーエンジンで、適期収穫を実現。

脱粒

●大豆脱粒機(定置式)

湿材は間欠排粒でゆっくり、乾燥状態がよければ連続排粒で能率良く脱粒できる切替式。



型式:BT353-BT353B
エンジン出力:3.1PS
希望小売価格:422,835円～
※写真は黒大豆仕様。

●大豆脱粒機(自走式)

穀粒にやさしい軸流式脱く方式で大豆の「割粒」や「裂皮」を抑え、ていねいに脱粒。



シリーズ名:PBTシリーズ
エンジン出力:4.7・6.0PS
希望小売価格:729,750円～
※写真は黒大豆仕様。
※ディーゼルエンジン搭載機もあり。

乾燥・調製

●穀物遠赤乾燥機

1台で大豆・そば・麦・粉の乾燥ができる。

型式:RKC400-XS
希望小売価格:2,245,950円
※大豆乾燥機には、大豆専用キット(オプション)が必要。



●汎用色彩選別機

より早く、より確実に選別可能。検査規格に合った粒径を揃えることで、収益を確保できる。

型式:CLX-502DM
希望小売価格:3,465,000円



●大豆選別選粒機

大豆のころがり特性を利用して、高精度・高効率に選別。確かな選別選粒能力を発揮。

シリーズ名:YBS シリーズ
希望小売価格:641,550円～
※写真はYBS2000Gに、計量機ユニット3個取付状態。

